



本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

秋の谷戸まつりで、豊作を味わいましょう



稲刈り

晩夏から一気に晩秋へ。それでも谷戸の秋は、稲刈りに合わせるように、順番に咲き乱れる花々で彩られました。谷戸じゅうを覆い尽くしていた大量の草たちも、おとなしくなってきました。酷暑を乗り越えて育った農作物を、みんなで愛でたいですね。

お知らせ&谷戸往来1

第45回 秋の谷戸まつり 11/30(日) 10:00~13:00

場所：野外生活体験広場(荒天中止)

炊き出し

- ・もち
- ・谷戸鍋
- ・おにぎり
- ・ふかし芋

販売

- ・新米
- ・農芸品
- ・薪
- ・わら細工
- ・絵葉書など

体験

- ・正月飾り作り
- ・ノコギリ体験
- ・竹箸作り
- ・わたくり

お椀とお箸を
ご持参ください!



東京農業大学 有志薪割り同好会 大学生来訪 9/21(日)

私たちは、『自然
について探究する』

を根幹とし今年度発足した有志団体です。今回、苗床の開墾作業をお手伝いさせて頂きました。炎天下ではありましたが、普段なかなか経験できない作業に取り組むことができ、心も体も満たされたひとときとなりました。このような機会をいただき誠にありがとうございました。山崎の谷戸で活動できることをとても有難く感じています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(景山豊作)



記録的な残暑が続き、9月も真夏の延長でした。関東でも鎌倉だけは、40日以上雨が降らず田んぼがひび割れてしまいました。9月5日に突然、大雨が降り、谷戸の土手が崩れました。田んぼや湿地は、やっと水不足が解消しました。10月20日の時点では、まだ台風の直撃はありません。3年連続で直撃を免れていることになります。猛暑や水不足の影響か、秋の野草の花が咲くのが遅れ、秋の湿地をいろどるミゾソバの花が半月遅れでようやく咲き始めました。

●9月から10月の谷戸でよかったこと心配なこと

よかったこと 春から姿を見せなかったミツバチ（野生のニホンミツバチ）が、9月頃から時々見られるようになりました。



ミゾソバ



ノビタキ ♂

した。ミツバチは暑いと産卵が少なくなるそうですが、気温が下がってきたからでしょうか。10月15日、ノビタキという野鳥が本田の近くで撮影されました。夏に高原で繁殖し、秋に南へ渡っていく途中、谷戸に立ち寄ったのです。鎌倉では珍しい記録です。草原の鳥なので、田んぼとオギ原があることが、ノビタキを引き寄せたのでしょうか。谷戸に里山環境がある証拠です。

心配なこと 今年の秋もアキアカネが少ないようです。湿地の花に来るトラマルハナバチなど昆虫の姿も少なめです。猛暑は昆虫に大きく影響しているようです。

●田んぼの水不足 40年前と今

谷戸の田んぼの水は、①上流の湿地から水路で流れて来る水、②畔から染み出してくる水（絞り水）、③斜面の林から入ってくる水の3種類があります。現在は、③の水は目で確認できませんが、40年前は、山側の土手から竹筒で、水を田んぼ（細田といわれる区画）に落とし込んでいました。山の斜面からいつも水が出ていたのです。②は③とも関係していますが、田んぼに入ると冷たい箇所があるのでわかります。この水は、夏は冷たく冬は暖かいので、ヘイケボタルの幼虫が育っていると思われます。30年くらい前まで、田んぼのヘイケボタルは今よりたくさんいて100匹くらいは見られました。畔から染み出してくる絞り水が豊富だったのでしょう。今年の雨不足で、①が明らかに減少しました。上流の湿地も水不足だったので、どうにもなりません。さらに田んぼの水不足の原因として、湿地から田んぼへ流れる地下水脈の分断が考えられます。谷戸が公園化される時、田んぼの上流に横断道が作られたからです。横断道の下に水路を作って、田んぼに流れ込むようになっていますが、地下水脈への影響は不明です。おそらく水が滞っているのでしょう。そのため、上流の湿地にガマが多く生えているのかもしれませんが。根本的な対策は難しいですが、湿地の保全とも合わせて、谷戸全体の乾燥化対策を考えていきたいと思えます。



アキアカネ

田んぼ班 

今年の夏は酷暑と渇水に悩まされ、田面の水は枯れ、深さ 20cm のひび割れが発生。台風の大雨後も半分以上の田で水が張らない状態で、これからが心配です。それでも秋の収穫量と米質は例年並みの様子で少し安心しました。

畑班 

3年続きの記録的高温&少雨。谷戸まつりもあるが害虫対策で大根の種蒔きを遅らせた。発芽は順調だったにんじんも根腐れ、裂根が多く発生。さといもは言わずもがな。畑のバツタ、コオロギなども少ない。


生態系保全班 

夏の渇水は田畑と生きものに深刻です。水路に水を呼び込むため湿地の手入れに取り組みましたが思うようにはなりません。土の中の湿気を信じ一つでも多くの命が生き残れるよう諦めず奮闘しました。

雑木林管理班 

昨年よりも暑く、そして少雨等、木々の生長を左右する出来事が毎年発生しています。稲刈りが終了し、雑木林周辺の草刈りから活動を再開、今期の除間伐材計画を立て、作業を進めていきます。



 10/6 大根間引き、長ねぎ草取り


農芸班 

大麦脱穀は、髭のようにびよんびよん出ている「禾(のぎ)」が細かく折れ砕けて手がチクチクとしました。また、細かな石や塵を指先で取り分ける小麦選別は、子どもから大人までたくさんの人の手を借りました。

植物育成班 

暑い時期、必死にカナムグウを駆除した成果、ミゾソバとツリフネソウが見事に咲きました。これから種ができるため、気を抜かず、まだまだ駆除に手は抜けません。土手の草刈りもあわせて行います。




 10/13 芋掘り、脱穀

自然遊び班 

★だっくは何回もやったことあるけど、足ぶみするリズムがおそすぎるとまきこまれてしまうのでむづかしかった。(小5)★さつまいもほりをしました。白いはいをまいたのが雪みたいで楽しかったです。(小2)



 10/13 堆肥撒き

谷戸の生きもの

カタクリハムシほか

“ときめき虫探し”

今年も谷戸では多くの“出会い”があった。どんな出会いか知りたいという声・・・はないと思うが3つ紹介したい。まずカタクリハムシ。早春の花“カタクリ”の名がついてるハムシをヤマユリで発見した時は驚き、そしてときめいた。“いない”という先入観があったが、そういえばカタクリも同じユリ科だ。赤色、そして6mmとハムシにしては大きく、撮影しながら免疫力がアップするのが分かる。R-1 ヨーグルト 10個分くらいか。(高いから1日1個ね)次はアミダテントウ。近隣の公園で見つかったので、もしかしてと思っていた矢先の発見。カタクリハムシの“思いがけず”に対して“してやったり”のときめきだ。いやがうえにも免疫力がアップ。R-1、11個分くらいか。名前の由来は“あみだくじ”・・・ではなくて“阿弥陀如来”。背中模様は残念ながらどこから見ても??・・・いくら見ても??やはり極楽浄土は遠いなあ。そしてクロスジギンヤンマ。谷戸では毎年見ることができると、オスは田んぼの上を絶えずせわしく飛び続けるので私のコンパクトデジタルカメラでの撮影は不可能だ。撮影したのは本田奥のため池で6月末だった。初夏のヤンマなので、老熟したオスが疲れるのかちょっと飛んでは止まって休むのを繰り返していた。(分かるなあ)

谷戸で一番美しいトンポに向き合い、ときめきの撮影タイム。R-1、12～13個分いっちゃったかな😊 (たのくろまめお)



カタクリハムシ



アミダテントウ



クロスジギンヤンマ

谷戸往来 2

コミュニティスクール委員連携授業「谷戸を守る活動について」9/25(木)

山崎小学校で谷戸のおじさん、大活躍! 山崎小学校の3年生を対象に、清水谷戸で虫とり、草とり、竹とりの体験授業が行われ、山崎・谷戸の会の会員である3人のおじさんたちが講師として大活躍しました。子どもたちが地域活動である「里山の手入れ」について理解し、地元の人たちがどのような思いで、日々、作業に取り組んでいるかを知ってもらうことが目的です。実際に体を動かして、五感で自然に触れながら、草を刈ったり、竹箬を削ったり、それぞれに楽しんでくれました。いつか、竹やぶで『竹取物語』をみなで朗読したことを思い出してほしいな。(長谷川潤)



三菱電機(株)来訪 10/4(土)

地元の環境保全活動に貢献しようと三菱電機(株)より26名の参加がありました。以下、感想文です。「職場の身近な場所で社会貢献ができてよかった。地域の自然環境を守る活動



のため引続き貢献できればと思います。」「機械を使わない手作業での米作りの大変さを体験できて非常に良かった。」「作業内容は新鮮で面白かった。」

鎌倉中央公園 フェスティバル 10/25(土)

写真展示などの活動紹介を行いました。

青空自主保育保全活動 にこにこ会 10/19(日)

「身体をつかって汗かいて、泥だらけになって...大人になるとなかなかない経験なので楽しかったです。谷戸の自然はこうやって、人の力が集まって守られているんだなと改めて感謝の気持ちをもちました。」 (保護者)

体験学習

深沢小5年 稲刈り 10/6

★稲はザクザク切るのではなく、引いたら切れるのだと分かりました。

★稲刈りをし、まとめていたら、稲が踏み潰されてたりしていました。踏み潰されただけで、お米3杯分はなくなってしまうということに気づき、お米を大切にしたり、給食のお米を、残り無く食べようと思いました。

★ちゃんと水平に稲を切れるか心配だったけれども、いざやってみたらすごく綺麗に切れて嬉しかったです。

★お米を作るのにすごい手間と時間と労力がかかる。

★米を取ったその後、乾燥することを知った。

★今回は田んぼで何かやっただけじゃなくて、お米を運んだり、結んだり、干したりして、今までと違うことをしたけど、全て手作業でやってすごいと思いました。

★刈った稲を20束くらいにするととても重く、大切に扱おうと思った。

★稲刈りとかその後の作業は想像以上に大変な作業だったけど、この体験で農家の人たちの苦勞がわかりました。

富士塚小5年 稲刈り 9/26

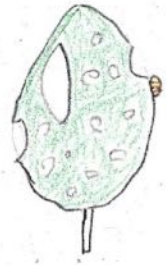
★稲を切るときの感触が気持ちよくて楽しかったです。またやりたいです。

★谷戸歩きでは春や夏の暑いじきとはちがう秋のいいところもあってとてもよかった。

★切るところは、上すぎず下すぎず、ちょうどいいところをさがすのにくろうしました。



★大葉?みたいなやつを食べてるようちゅうが少しみえました。



★かまをはじめてつかったんですけど、稲刈りをして、たいへんさと楽しさがわかりました。もうすぐお米ができるのをたのしみにしています。

★ひさしぶりに田んぼのなかに入ったけど砂で感かくをとりもどした。稲がテレビでよくみるおうごん色の稲でびっくりした。

★谷戸歩きはたくさん虫とかめずらしいものがたくさんいました。自分も自然が好きになってきました。

植木小5年 稲刈り 10/9

★前に植えた時は田んぼに入る前に上から見下ろすと土が見えていたが、稲刈りの時は土が少しも見えないくらい、稲、米が育っていてびっくりした。あまりにも楽しかったので2週目をやらせてもらった。

★楽しいな
秋田んぼ
どろいっぱいだ

★いざやってみると思ってた以上にうまくできて、自分この仕事むいてるんじゃないかと思いました。



★稲を切るときは、かまを使って、水面ギリギリに切るのがよいそうです。最初はうまくできませんでしたが、3回、4回と続けていくうちに、どんどん上手になった気がします。

★谷戸めぐりをしました。水源をみたり、しぜんをみしました。谷戸のれきしがしれて楽しかったです。

★でも、心を開いたら虫のことなんか、なんでもよくなりました。1人7かぶの予定でしたが、楽しくて10かぶ以上刈りました。

★私は最初に畑の探検をしました。上から見たら一面に広がっ

ている畑がすごくキレイでした。



11月

- 2日(日) 田 粃干し、粃すり、精米、はざ片付け、
わら片付け ♣
- 3日(月・祝) 自 かまくら子育て支援グループ
懇談会主催「さといもとどろんこ」
- 5日(水) 生 晩秋のチョウと鳥観察
- 9日(日) 田 粃すり、精米、米の袋詰め
- 10日(月) 畑 絹さやの種蒔き ♣
- 12日(水) 畑 さといも掘り・洞入れ ♣
植 晩秋の植物観察 ♣
- 14日(金) 農 たのくろ豆殻出し ♣
- 16日(日) 田 粃すり、精米、米の袋詰め ♣
雑 雑木林を歩いて調査 ♣
- 17日(月) 畑 落花生の収穫
- 23日(日) 田 精米、米の袋詰め、溝切り
雑 雑木林の除間伐
- 26日(水) 畑 さつまいもの洞入れ ☆
- 30日(日) 畑 秋の谷戸まつり
畑 にんじんの収穫

12月

- 3日(水) 生 獣のフィールドサイン ♣
- 7日(日) 田 落ち葉かき、畔直し ☆
雑 雑木林の除間伐 ♣ ☆
- 10日(水) 生 冬の鳥観察
- 14日(日) 田 粃殻くん炭、むしろ編み ♣
畑 土壌改善 ♣
雑 雑木林の除間伐
自 里山探検隊
「冬の谷戸しごと、谷戸あるき」
- 15日(月) 畑 落ち葉かき ☆
- 21日(日) 田 粃殻くん炭、むしろ編み
雑 雑木林の除間伐 ♣
講座「正月飾り作り」☆
会員親睦会
- 22日(月) 畑 大根の収穫・洗い・干し ♣
- 28日(日) 雑 雑木林の除間伐

1月

- 11日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥切り返し、むしろ編み ♣
雑 雑木林の調査・測定 ♣ ☆
- 12日(月・祝) 畑 どんど焼き
- 14日(水) 畑 畑の整備
植 土手の草刈り作業
- 18日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥撒き、わら切り、
むしろ編み
雑 雑木林の除間伐
自 父と子の里山体験
講座「雑木林の管理」☆
青空自主保育にこにこ会保全活動
- 19日(月) 畑 荒起こし ☆
- 21日(水) 生 カエルの産卵場所整備
- 23日(金) 農 たくわん漬け ♣
- 25日(日) 田 粃殻くん炭、わら切り、むしろ編み ☆
雑 間伐材整理 ♣
青空自主保育なかよし会保全活動
- 26日(月) 畑 じゃがいも予定地の耕し ♣

☆ 谷戸塾 ♣ 里山一日体験

- 田 田んぼ班
- 雑 雑木林管理班
- 自 自然遊び班
- 植 植物育成班
- 畑 畑班
- 農 農芸班
- 生 生態系保全班

<お問い合わせ>

住所:
〒247-0066
鎌倉市山崎1667鎌倉中央公園管理事務所内
TEL/FAX:
0467-47-1164 (木曜を除く10時~16時)
ホームページ:
<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>
メールアドレス:
ya-yato@arrow.ocn.ne.jp



QRコード
からHPに
アクセス!

<集合時間・集合場所>

■各班活動 時間:9:30 場所:農家風休憩舎
(農芸班、自然遊び班は、10時~)

次号(会報131号):2026年1月発行予定
会費:郵便振替口座番号 00270-6-115647

